

地方創生推進交付金事業実施の効果検証結果

No	①	② 事業の内容	③ 実績額 単位:円	④		⑤		⑥		⑦	
	交付対象事業の名称			本事業における重要業績評価指標(KPI)		本事業終了後における実績値		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	香港における南部広域観光・物流促進事業	<p>観光部門では、地方創生加速化交付金を活用して策定した誘客戦略に則り、タクシーやレンタカーの利用促進を図るとともに、SNSを活用した情報発信や現地イベントへの参加、さらには国や旅行エージェントとのタイアップによるプロモーションを実施する。</p> <p>物流部門では、香港を経由して輸出可能なエリアにおける商談会等への出展補助事業や県内で開催される中規模商談会、国内バイヤーの招聘を中心とした本エリア内での小規模商談会を継続する。また、海外輸出プロモーション事業として、県貿易協会とタイアップし、シンガポールの日系スーパーで開催される鹿児島フェアに参画する。</p>	3,869,494	<p>① 本エリアに宿泊する香港からの観光客数</p> <p>② 本事業による商談数</p> <p>③ 本事業による成約数</p>	<p>平成30年度増加分</p> <p>① 1,779人</p> <p>② 20件</p> <p>③ 5件</p>	<p>平成30年度増加分</p> <p>① Δ5,648人</p> <p>② Δ71件</p> <p>③ 14件</p>	<p>地方創生に効果が見込める。</p>	<p>総合戦略のKPI達成に有効であった。</p>	<p>・実施した商談会について、次につながるアンケートなどは行っているのか。次回に活かされるような取組がなければ意味がない。商談会をすることに意味があるのではなく次につなげることに意味があると思う。</p> <p>・観光客数が減少しているその分析として、潜在的に存在した当エリアへの旅行希望者が前年度中に多数来訪したことあるが、無理があるのではないか。</p>	<p>追加等更に発展させる。</p>	<p>観光部分については、平成30年度のKPIは達成できなかったが、事業開始前と比較すると目標を大きく上回る観光客が来訪しており、引き続き事業を継続するとともに、物流部分の輸出についても協議(商談)を重ねながら成約件数の増加に向けて事業を継続する。また、令和元年度においても引き続き地方創生推進交付金の交付対象事業として決定されたことから、本事業を更に発展させ展開していく。</p>